

図書館等複合施設建設基本計画（案）に対するパブリックコメントと市の考え方

令和元年6月17日（月）から7月5日（金）まで実施した「図書館等複合施設建設基本計画（案）に対するパブリックコメント」について、2人から9件の御意見をいただきましたので、市の考え方について公表します。

No.	意見の要旨	意見に対する市の考え方
1	<p>【施設全体】 図書館と「ものづくり」を結びつける理由は何か。図書館、鍛冶ミュージアム、科学教育センターの現状と課題はバラバラなのに、複合施設のコンセプトが突然出てくる。課題からコンセプトに至る必然性がない。それぞれの課題を解決し、建物を共有し費用を抑えるだけで十分な建設理由になるのではないか。</p>	<p>新たな施設の建設に当たって、建設経費を最小限に抑えるとともに、利用者の利便性を考え、機能の集約化、複合化の視点が不可欠であると考えたものです。コンセプトの設定に当たっては、機能の集約化、複合化を踏まえ、さらに当市の強みである「ものづくり」の視点を付加したものです。</p>
2	<p>【図書館】 コンセプトの説明以降、現状の課題を解決する記述がない。また、現状の課題をもっと丹念に精査したらどうか。</p>	<p>「第6章 管理運営計画 2 図書館機能」では、質の高い図書館サービスの提供として、豊かな知識を有する司書等の充実を図ることとしており、新たな施設に求められる大きな課題は「人材の育成」であると考えています。このような人材を雇用又は育成することで、ニーズを的確に捉え、図書館としての魅力の向上、居心地の良い図書館づくりを目指します。</p>
3	<p>【図書館】 ソフトの面の課題が何も示されていない。ソフトをどうするか、ハードが決まってくるのではないかと。配置についても、どのような来館者を想定しているのか。</p>	<p>課題については、上記のとおりです。 また、来館者については、図書館は市民全般、鍛冶ミュージアムは市内外の方、科学教育センターは、教職員の研修や市内小中学生の学習の場として、また、土日等には科学的なパフォーマンスや催事を行い、市内外からの来館を想定しています。</p>

4	<p>【図書館】 図書館の果たすべき役割は多彩なもので、敢えてものづくりに括る必要はない。選書に関しても過度な比重をかけないでほしい。</p>	<p>市民ニーズを的確に捉え、居心地の良い図書館運営のため、選書については分野を問わず適切に行っていきます。</p> <p>なお、「ものづくり」については三条市の強みの視点として付加するものです。</p>
5	<p>【図書館】 図書館法第1条の目的である「国民の教育と文化の発展に寄与する。」に立ち返り、すべての市民のための図書館として市民を巻き込んだ再熟慮をお願いしたい。</p>	<p>この度のパブリックコメントの実施や市民を対象とした設計業者とワークショップを開催するなど市民の皆様から多くの御意見をいただく機会を設けたいと考えています。</p> <p>また、ユニバーサルデザインの観点から、有識者からも意見を聴取する場を設ける予定です。</p>
6	<p>【鍛冶ミュージアム】 三条鍛冶道場があるにも関わらず、コンセプトのない観光施設を拡充するのは反対である。</p>	<p>三条鍛冶道場は、鍛冶、木工等のものづくりに係る体験、技術研修施設であり、技術の伝承及び産地の活性化に寄与することを目的として設置された体験施設であります。</p> <p>鍛冶ミュージアムは、図書館、科学教育センターと連携し歴史的背景を含め日本の伝統技術の技術的な優位性を世界に向けて発信するとともに、鍛冶職人のよりどころとなる展示を行うことを主とした展示施設であります。</p> <p>2施設は、「体験施設」、「展示施設」として役割分担が出来ていると考えておりますので、原案のとおりとします。</p>
7	<p>【鍛冶ミュージアム】 三条鍛冶道場に展示機能を集約すべきである。</p>	<p>回答については、上記のとおりです。</p> <p>また、鍛冶ミュージアムを複合施設内に設置することで、ものづくりを中心としソフト面で各施設と連携することにより</p>

		外部に向けて効果的な情報発信をすることが可能になると考えておりますので、原案のとおりとします。
8	<p>【科学教育センター】</p> <p>総合施設にいろいろなものを入れたいという気持ちは理解できなくないが、この計画は、雑多施設ということで新規性と魅力に乏しい。</p>	<p>市内小中学生を対象とした学校ではできない理科授業の実施、土日等に行う科学的なパフォーマンスや催事等、新たな事業を構想しています。市民の皆様から魅力を感じていただける施設となるように今後も検討してまいります。</p>
9	<p>【科学教育センター】</p> <p>図書館という紙の山が存在し、街の情報全てを収めている建物内に、火災や有毒ガスが発生する化学薬品を置いても大丈夫なのか。地震で薬品が倒れたら発火、ガスが発生するのではないか。</p>	<p>薬品は施錠した準備室内に設置する転倒防止付き薬品庫の中で、地震等による瓶の転倒・破損がないように保管します。また、混合・接触することで発火したり、有毒物質を発生させたりする可能性がある薬品同士は分けて保管するなど、十分な安全対策を行いながら管理します。</p>